

連結決算補足説明資料

2021年3月期 第1四半期

(2020年4月1日～2020年6月30日)

2020年7月30日

(証券コード：9640)

株式会社 セゾン情報システムズ

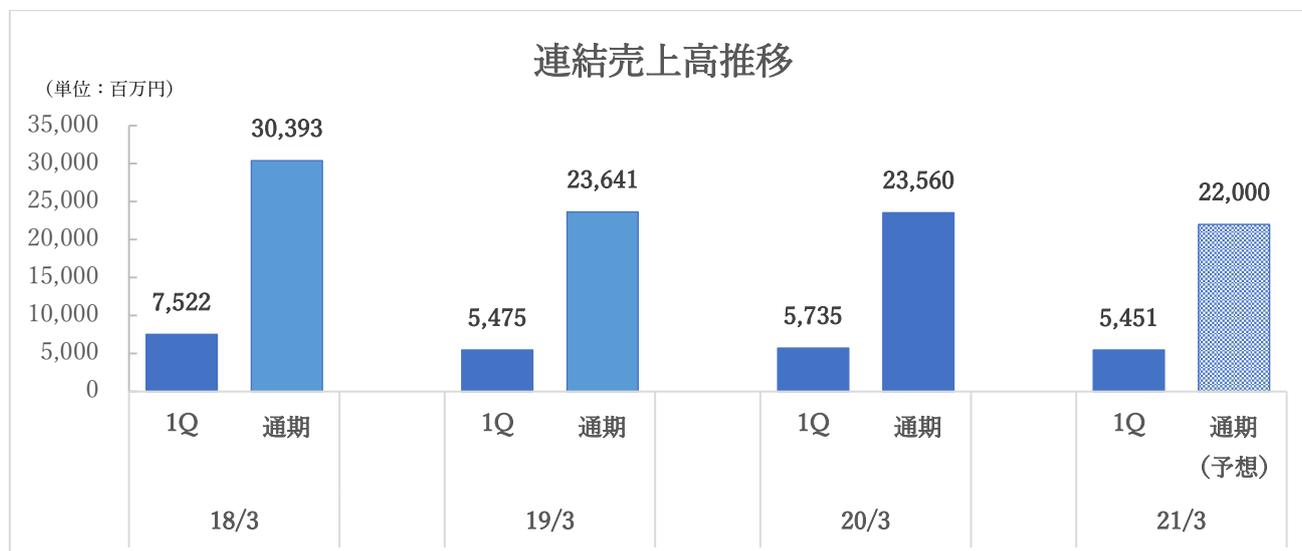
目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② リンケージ事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益推移

■連結売上高



<当第1四半期連結累計期間>

当連結会計年度は、現中期経営計画の最終年度として、新たな事業領域のさらなる拡大に向けた取り組みを継続しております。当第1四半期連結累計期間においては、通期計画値（22,000百万円）に対して進捗率24.8%となり計画どおりに推移しました。

<2020年3月期（通期）>

- Fintechプラットフォーム事業の既存領域におけるシステム開発案件が減少する（前年同期比1,397百万円減）も、HULFT事業ライセンス販売好調（前年同期比917百万円増）
- リンケージビジネスが事業の柱に成長
- 子会社株式会社アプレッソを2019年4月1日付で吸収合併（⇒適時開示、2019年1月30日）

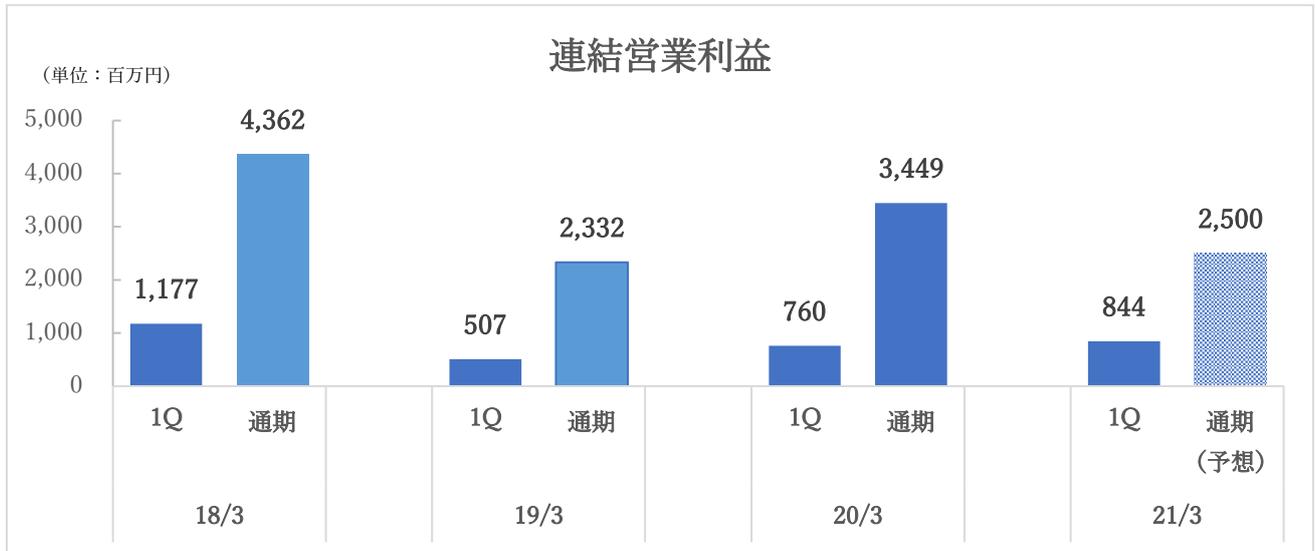
<2019年3月期（通期）>

- 新技術・新領域へ事業展開の取り組みを強化
- 流通ITサービス事業においてデータ連携サービスが順調に増加（前年同期比45百万円増）
- HULFT事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調で過去最高売上高を達成（前年同期比321百万円増）

<2018年3月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼働しカードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前年同期比774百万円増）
- HULFT事業ライセンス/サービス、サポート売上好調（前年同期比258百万円増）
- 子会社株式会社フェスを2018年1月に事業譲渡（⇒適時開示、2017年11月29日）

■連結営業利益



<当第1四半期連結累計期間>

売上高と同様に通期計画値（2,500百万円）に対して進捗率33.8%となり順調に推移しています。

<2020年3月期（通期）>

- 売上高が前年並みであった一方で、営業利益は増加（前年同期比1,116百万円増）
- 流通ITサービス事業において、既存領域の消費税増税対応案件が一時的に増加したこと等による利益増加（前年同期比262百万円）
- HULFT事業においてライセンス販売が好調であったことに伴い利益増加（前年同期比798百万円増）

<2019年3月期（通期）>

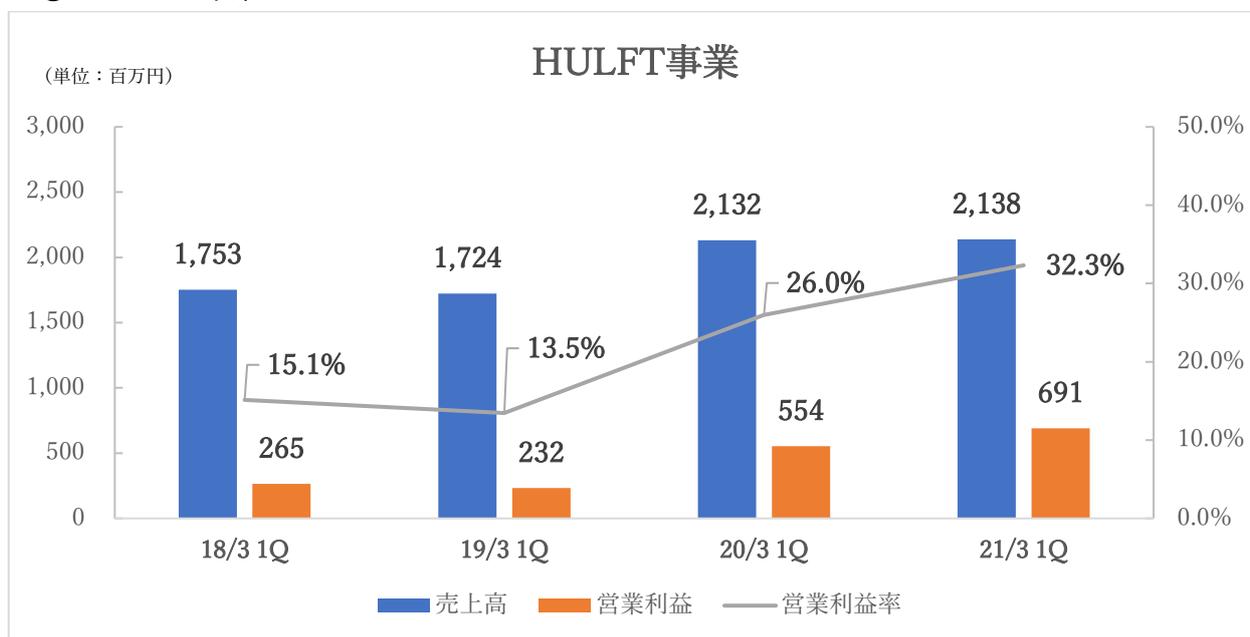
- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことによる利益減少したものの計画値は達成
- HULFT事業においてライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加（前年同期比426百万円増）

<2018年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加（前年同期比1,170百万円増）
- 流通・ITソリューション事業（現流通ITサービス事業）において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加（前年同期比859百万円増）

2. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第1四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が大幅に増加したこと、クラウド型のサブスクリプションサービスやサポートサービスが拡大したことにより売上高増加（前年同期比408百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比322百万円増）

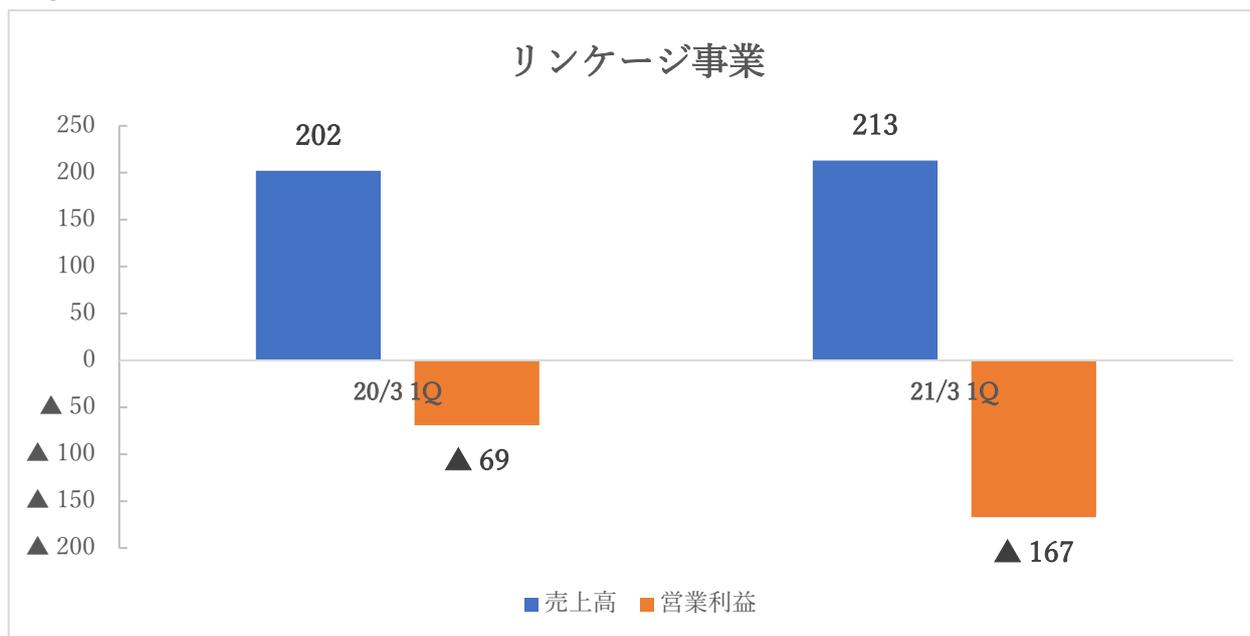
<2019年3月期第1四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大した一方で、ライセンス売上が減少したことによる売上高やや減少（前年同期比28百万円減）
- さらなる事業拡大を図るため、製品開発体制の再構築、グローバル展開強化、次世代戦略製品の研究開発及び人材育成等へ事業投資を積極的に実施したことによる利益減少（前年同期比33百万円減）

<2018年3月期第1四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前年同期比48百万円増）
- テクニカルサポート体制強化、マーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前年同期比59百万円減）

② リンケージ事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021年3月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。

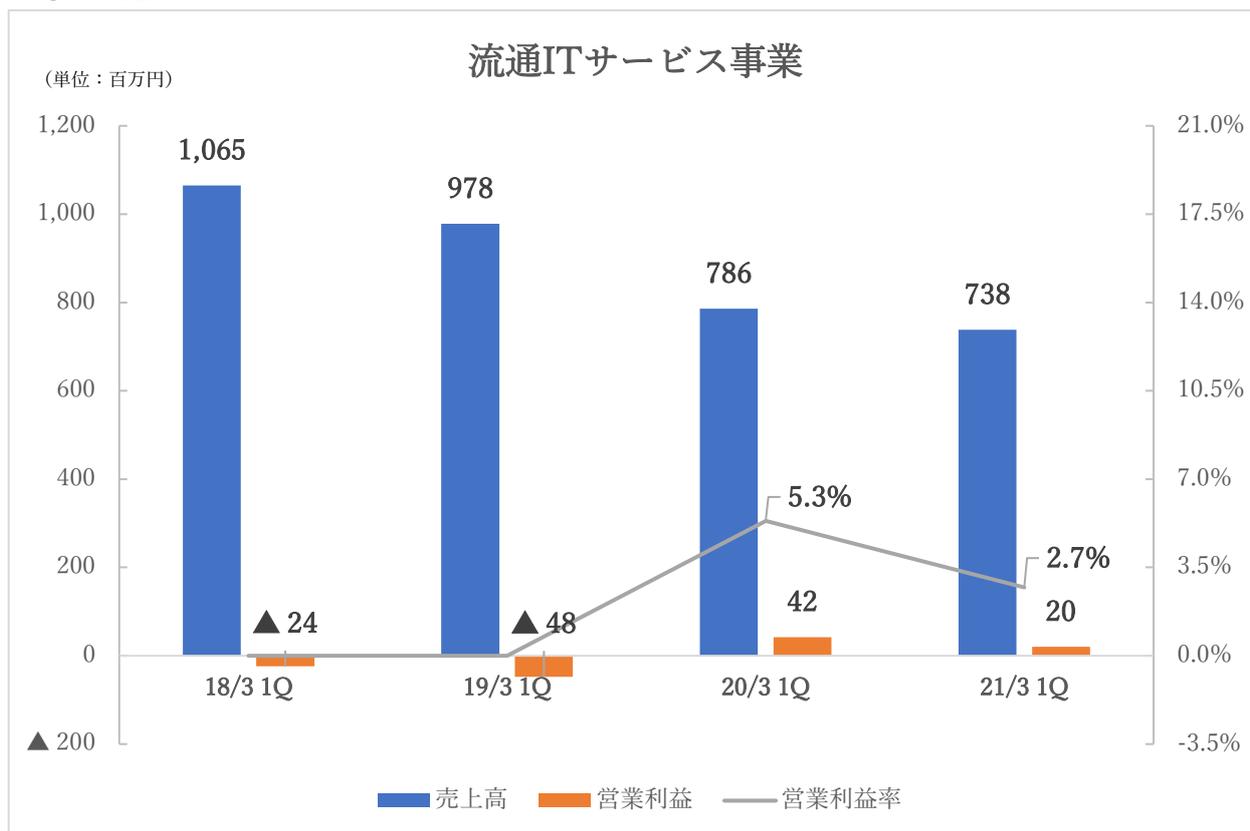
前期以前につきましては、数値の把握が困難なため記載しておりません。

なお、当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第1四半期>

- リンケージサービス案件が順調に増加
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加に伴うコストが増加したため営業損失となっております。

③ 流通 IT サービス事業



※2020年4月1日付で、流通ITサービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。20/3 1Qは、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第1四半期（流通ITサービス事業）>

- 事業モデル転換が進み既存領域の案件が減少したことによる売上高減少（前年同期比192百万円減）
- 強みを活かせる案件へ限定したことにより利益率が向上（前年同期比90百万円増）

<2019年3月期第1四半期（流通ITサービス事業）>

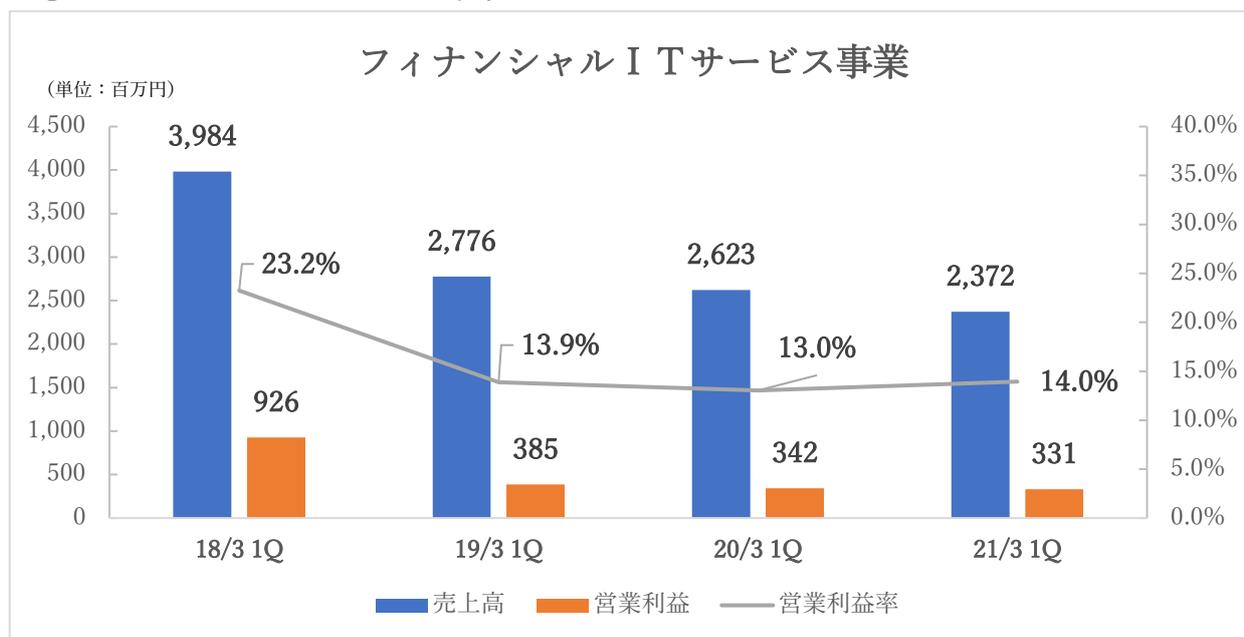
- システム開発中心からサービス提供中心へ事業モデル変革を目指し、システム開発案件を当社の強みを活かせる案件へ限定したことによる売上高減少（前年同期比87百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「流通・ITソリューション事業」を「流通ITサービス事業」に名称変更しています。

<2018年3月期第1四半期（流通・ITソリューション事業）>

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少（前年同期比104百万円減）
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善（前年同期比213百万円増）

④ フィナンシャル IT サービス事業



※2020年4月1日付で、Fintechプラットフォーム事業からフィナンシャルITサービス事業へ名称変更しております。

当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2020年3月期第1四半期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 既存領域におけるシステム開発案件が減少したこと等により売上減少（前年同期比152百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比42百万円減）

<2019年3月期第1四半期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 大型システム開発が完了したこと等により売上減少（前年同期比1,208百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少（前年同期比541百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

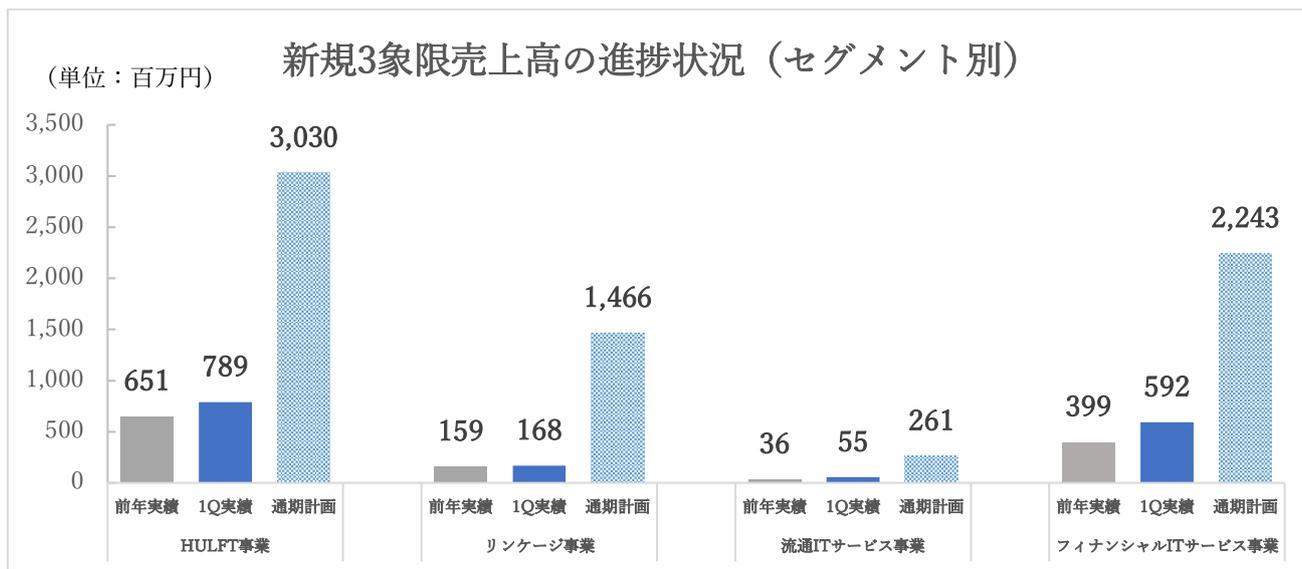
<2018年3月期第1四半期（カードシステム事業）>

- 顧客向けシステム開発減少等による売上高減少（前年同期比75百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加（前年同期比390百万円増）

3. 新規3領域進捗状況

■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を4つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高は、当社の経営指標に設定しております。



■全社

当連結会計年度の計画において、新規3象限売上高計画値は7,000百万円としています。当第1四半期連結累計期間での実績は1,604百万円であり、進捗率は22.9%となっております。各セグメントの実績は以下のとおりとなっております。

■事業別

HULFT事業は、通期計画値3,030百万円に対して、当連結累計期間での実績は789百万円であり、進捗率は26.0%です。

リンケージ事業は、通期計画値1,466百万円に対して、当連結累計期間での実績は168百万円となり、進捗率は11.5%です。

流通ITサービス事業は、通期計画値261百万円に対して、当連結累計期間での実績は55百万円であり、進捗率は21.1%です。

フィナンシャルITサービス事業は、通期計画値2,243百万円に対して、当連結累計期間での実績は592百万円となり、進捗率は26.4%です。

4. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2020年4月1日～6月30日）

- 世界にチャレンジするアスリート支援活動において、陸上競技の若林康太選手を採用
⇒世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援を目的として、陸上競技の若林選手を採用。
⇒2017年に採用した小林直己選手、2018年に採用した加藤修也選手に続き、所属選手は3名。
- セゾン情報システムズ、社会貢献活動基本方針を策定
⇒社会貢献活動の一環として、毎年営業利益の1%を世界の生活者の生命・健康の増進や飢饉・貧困からの救済活動を行っている団体に寄付する基本方針を策定。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営推進部 IR 担当

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://home.saison.co.jp/>